

2026年用 パワーマックス共通テスト対応模試

編集方針

次の点を意識して制作しています。

- 1

2025年度本試験・追試験を踏まえて、**今年度出題が想定される内容を幅広く扱います。**どのような出題であっても動じることなく対応できます。
- 2

解答解説において、**数学が苦手な生徒が読んだときにわかりにくそうな部分には説明を追加し、一人でも無理なく学習できるように配慮しています。**
- 3

解答解説において、問題で省略されている計算部分の説明や研究内容も紹介し、**数学が得意な生徒が発展的な学習をできるようにしています。**



改訂のポイント

●分量・難易度

2025年用の**利用者の正答率も踏まえて、各回の分量・難易度を適切に設定**しました。2025年度本試・追試から分量・難易度が変化する可能性を踏まえて、各回の分量・難易度は一律にしています。

●統計的な推測

新課程で追加された「仮説検定」は2025年度本試で出題され、追試で出題されなかったことを踏まえて、**「仮説検定」を含む問題と含まない問題をバランスよく出題**しました。

●新作の問題

2025年度本試・追試の出題内容を踏まえて、**2025年用のパワーマックスから約2回分の問題を差し替え**ました。

●平面上の曲線と複素数平面

試作問題は中間2問の構成で、2025年度本試・追試は中間なしの構成でした。また、2025年度追試では「平面上の曲線」と「複素数平面」の融合問題が出題されました。いろいろな出題が想定されるので、**平面上の曲線のみ、複素数平面のみ、両方を含めたものなど、様々なパターン**を扱っています。

数学Ⅱ・B・C×8



定価
1,045円(税込)
B5判

問題編272ページ
別冊解答・
解説編152ページ

6月発刊

模試8回分を収録

数学Ⅱ・B・C×5



定価
803円(税込)
B5判

問題編176ページ
別冊解答・
解説編96ページ

6月発刊

模試5回分を収録

『パワーマックス共通テスト対応模試×8』の第1回～第5回と共通の問題です。

数学Ⅱ・B・C ハーフ+フル



定価
1,045円(税込)
B5判

問題編272ページ
別冊解答・
解説編168ページ

6月発刊

ハーフサイズ模試12回分+フルサイズ模試2回分を収録

『パワーマックス共通テスト対応模試×8』と共通の問題です。

表紙デザインは変更する場合があります

採用特典

▶P.37



Webダウンロード
本文データ

納品形態

▶裏表紙

問題・解答ともバラシ可

学習診断サイト

▶P.35

※「数学Ⅱ・B・C ハーフ+フル」は除く

パワーマックス 出題一覧

：新作・改題を含む大問 ※設定得点率:「Z会共通テスト学習診断サイト」に登録された得点などを基に設定

第1回

大問	分野	テーマ	目安時間	設定得点率
1	三角関数	三角関数を含む不等式が表す領域を考える	10分	75.8%
2	指数関数・対数関数	指数関数を含む方程式の異なる実数解の個数を求める	10分	71.8%
3	微分・積分の考え	二つの放物線の共通接線について考える	10分	74.8%
4	数列	数列の隣り合う二つの項の差の形を利用して、数列の和を計算する	11分	81.8%
5	統計的な推測	池の環境保全のための調査結果を検討する	11分	47.5%
6	ベクトル	ベクトル方程式を満たす点について考える	13分	46.5%
7	[1] 平面上の曲線と複素数平面	楕円を作図する道具の動き方を調べる(平面上の曲線)	5分	33.8%
	[2] 平面上の曲線と複素数平面	複素数平面上の点の軌跡について考える(複素数平面)	10分	

第2回

大問	分野	テーマ	目安時間	設定得点率
1	指数関数・対数関数	桁数と上2桁の数について考える	14分	52.0%
2	三角関数	内角の一つが直角である多角形の辺の長さについて考える	12分	53.2%
3	微分・積分の考え	定積分を用いて表された関数の増減を調べる	8分	61.5%
4	数列	2地点を移動するときの道路の選び方について考える	12分	51.9%
5	統計的な推測	ゲームのクリア時間について、仮説検定と推定をそれぞれ用いて考察する	12分	60.5%
6	ベクトル	四面体において、ある四つの直線が1点で交わるかを調べる	12分	41.3%
7	[1] 平面上の曲線と複素数平面	方程式が表す図形の概形について考える(平面上の曲線)	4分	57.9%
	[2] 平面上の曲線と複素数平面	3点 z 、 z^2 、 z^3 を頂点とする三角形が二等辺三角形になる条件について考える(複素数平面)	8分	

第3回				
大問	分野	テーマ	目安時間	設定得点率
1	図形と方程式	複数業者から購入するとき、支払いを最も安くする方法を考える	10分	73.3%
2	指数関数・対数関数	$\log_2 x$ と $\log_x 2$ の関係をもとに $y=\log_x 2$ のグラフをかく	7分	75.3%
3	微分・積分の考え	4次関数のグラフと接線の本数について調べる	11分	63.4%
4	数列	あるルールに従ってブロックを積むとき、段数や1段目の個数について考える	14分	57.3%
5	統計的な推測	確率分布を特徴づける値について考える	14分	49.7%
6	ベクトル	ベクトルの終点の存在範囲について考える	13分	50.2%
7	平面上の曲線と複素数平面	原点を中心に回転移動した図形を表す方程式の求め方について考える	12分	45.5%

第4回				
大問	分野	テーマ	目安時間	設定得点率
1	三角関数	不等式の解を求める	8分	44.0%
2	指数関数・対数関数	天体の明るさを比較する	10分	52.4%
3	微分・積分の考え	ある曲線と平行移動した曲線について、共有点と囲まれた図形の面積について考える	14分	44.7%
4	数列	数列の一般項から漸化式をつくる方法を考える	12分	46.3%
5	統計的な推測	調査結果の比率の差について、仮説検定と推定をそれぞれ用いて考察する	12分	32.6%
6	ベクトル	座標空間の四面体の体積を求める	12分	33.2%
7	[1] 平面上の曲線と複素数平面	複素数の n 乗の値とその複素数が表す図形について考える(複素数平面)	6分	45.8%
	[2] 平面上の曲線と複素数平面	パラボラアンテナの性質を証明する(平面上の曲線)	6分	

第5回				
大問	分野	テーマ	目安時間	設定得点率
1	図形と方程式	二つの曲線の交点を通る図形を表すことができる式について考える	6分	81.2%
2	三角関数	$r\sin(\theta+\alpha)$ の形に変形できる式の条件を調べる	10分	85.8%
3	微分・積分の考え	3次関数のグラフと直線で囲まれた図形の面積を、平行移動を利用して求める	13分	64.0%
4	数列	分数型の漸化式の解法について考える	12分	69.7%
5	統計的な推測	入試の得点調整について考える	12分	47.5%
6	ベクトル	三角形の内角と外角の二等分線について調べる	13分	38.5%
7	平面上の曲線と複素数平面	楕円の法線が楕円上の点と焦点でできる角を二等分することを証明する(平面上の曲線)	12分	68.0%

第6回				
大問	分野	テーマ	目安時間	設定得点率
1	図形と方程式	円と直線、円と放物線が接する条件を考える	10分	73.1%
2	指数関数・対数関数	$\log_{10} 26$ の近似値を求める	7分	71.2%
3	微分・積分の考え	3次方程式の実数解の個数を調べる方法について考える	12分	65.2%
4	数列	2種類の細胞の増え方について、漸化式を用いて考える	12分	63.7%
5	統計的な推測	ある学校における公共交通機関の利用状況について分析する	14分	66.6%
6	ベクトル	二つの正 $2n$ 角形からなる図形について、ベクトルを用いて考える	12分	58.9%
7	[1] 平面上の曲線と複素数平面	放物線の極方程式を用いて、ある図形量について考察する(平面上の曲線)	6分	47.1%
	[2] 平面上の曲線と複素数平面	複素数平面上の単位円に内接する正五角形の頂点を表す複素数について考える(複素数平面)	6分	

第7回				
大問	分野	テーマ	目安時間	設定得点率
1	指数関数・対数関数	物体が落下する速さについて考える	8分	59.3%
2	三角関数	三角関数を含む連立方程式の解について考える	10分	68.1%
3	微分・積分の考え	道のりを面積で考える	12分	66.7%
4	数列	ある製品の毎年の製造量の変化を捉える	14分	43.5%
5	統計的な推測	化学物質に含まれる不純物の質量について考える	12分	46.9%
6	ベクトル	立体の辺上を動く2点の距離が最小値を求める	12分	55.7%
7	[1] 平面上の曲線と複素数平面	座標平面上の点の軌跡について考える(平面上の曲線)	7分	47.6%
	[2] 平面上の曲線と複素数平面	複素数平面上の点の軌跡について考える(複素数平面)	7分	

第8回				
大問	分野	テーマ	目安時間	設定得点率
1	三角関数	単位円周上の2点を結ぶ線分の長さの2乗について考える	7分	59.4%
2	指数関数・対数関数	地震の加速度と計測震度について考える	10分	72.2%
3	微分・積分の考え	導関数ともとの関数のグラフの関係について調べる	12分	72.6%
4	数列	$a_{n+1}=pa_n+f(n)$ 型の漸化式の解法について考える	12分	61.1%
5	統計的な推測	くじの当たりの本数について、正規分布を用いて仮説検定を行う	10分	67.4%
6	ベクトル	反射を座標空間において考察する	12分	78.2%
7	平面上の曲線と複素数平面	双曲線と直線の共有点について考える(平面上の曲線)	10分	69.8%